

〔源氏物語寄生四十九〕御かたち二宮女もいとをかしくおはすれば、みかどもらうたき物におもひきこえさせ給へり、略中まことには御母方とても、うしろみとたのませ給ふべき御をぢなどやうの、

はか／＼しき人もなし、

〔源氏物語蜻蛉五十二〕まる〇こそは御は、がたのをぢなれど、はかなきことをの給て、れいのあなたにおはしますべかめる、

〔諷草小言一〕漢惠帝、其姊ノ子ヲ以テ皇后トス、是以舅取甥也、亂倫ノ甚ニアラズヤ、彼人同族相婚

ハ夷狄ノ道ナリトイヘレド、其國ニモ古エハ如此ノ俗モアリシナリ、音語ニ重耳秦女懷嬴ヲ妻

季子ガ異類雖近、男女相及以生、民也ト云フ、イブカシキコト也、

母之姉妹謂姨又姨母

〔新撰字鏡親族〕姨母乎波

〔倭名類聚抄伯叔〕姨唐韻云、姨、〇云姨二字原、音夷、母之姉妹也、

〔箋注倭名類聚抄父母〕廣韻同、按釋名、母之姉妹曰姨、孫氏蓋依之、釋名又云、妻之姉妹曰姨、亦如之、

按說文、妻之女弟、同出爲姨、然則母之姉妹曰姨者、轉注也、〇中按釋名、母之姉妹曰姨、禮謂之從母、

爾雅母之姉妹曰從母、則知姨即從母、宜附錄上條、

〔伊呂波字類抄遠人倫〕姨母母之姉妹也、〔同人倫〕姨母ハ、カタノヲハ

〔日本書紀神代〕彥波瀲武鸕鷀草葺不合尊、以其姨、玉依姬〇生母、豐爲妃、生彥五瀨命、

〇按ズルニ、皇胤紹運錄ニ據レバ、鸕鷀茅葺不合尊ノ母ハ、豐玉姬ニシテ、海童二女トアリ、而シ

テ玉依姬ハ亦海神女トアレバ、玉依姬ハ母黨ノヲバナリ、故ニ姨ニ從ヘルモノナラン、

〔日本書紀推古十二〕十四年五月戊午、勅鞍作鳥曰、朕欲與隆內典、方將建佛刹、肇求舍利、時汝祖父司馬

達等便獻舍利、又於國無僧尼、於是汝父多須那爲橘豐日天皇〇用出家、恭敬佛法、又汝姨、島女初出

家、爲諸尼導者、以修行釋教、〇下